

会議議事録

会議名	第1回教育課程編成委員会	
開催日時	2015年6月28日(日) 12:00～13:30	
開催場所	彰栄リハビリテーション専門学校 会議室	
参加委員	参加者9名	工藤秀機、佐藤太智郎、原島宏明、保崎清人、森倉麗子 佐藤智恵子、金谷恵美、芦野裕一、長原将士
	欠席者1名	林淳三
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度教育課程編成委員会委員名簿 2. 彰栄リハビリテーション専門学校教育課程編成委員会規則 3. 2014年度自己点検及び自己評価報告書 4. 2015年度学生便覧及び講義概要 5. 2015年度時間割 	
会議録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校長挨拶(保崎) 開会及び自己紹介後、職業実践専門課程及び教育課程編成委員会についての概要を説明のうえ、協力を依頼した。 2. 外部委員紹介 外部委員3名の紹介を行った。 3. 学内委員紹介 学内委員7名(欠席者1名分を含む)の紹介を行った。 4. 委員会趣旨説明(保崎) 教育課程編成委員会の趣旨を説明した。 5. 委員会に関する規則について(保崎) 彰栄リハビリテーション専門学校教育課程編成委員会規則(案)について説明を行い、この規則が承認された。 なお、委員長には保崎清人校長が就任し、今後の会務を総理することも承認された。 6. 意見交換 教育課程について、意見及び検討議題が挙げられた。次回以降に主な課題を協議のうえ、教育課程の改善に活用することが確認された。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生は、学内の授業及び臨床実習について、熱心に取組んでいる姿勢が見られるので、今後も継続してほしい。 (2) 江古田の森及び総合東京病院の2施設については、入学希望者に対する病院・施設見学会イベントの見学先として、また在学生のアルバイト先、臨床実習先及び卒業時の就職先として、協力をいただいている。正に、入学から卒業まで企業との連携が取れているので、今後も継続していくことで、よりよい学校教育に結びつけたい。 (3) 臨床実習での学生は、合否の結果だけを求めすぎているため、臨床実習での本来の目的である「患者のことを第1に考える」「患者の疾患を含めしっかり診る」といったことが、不十分であることから 	

教育及び指導方法について検討が必要ではないか。

- (4) 作業療法士になる以前に、社会人として働くことをしっかり理解する必要がある。作業療法士に必要な知識及び技術だけではなく、就職して働くために必要な職業人としてのマナー及びコミュニケーション能力といった部分の教育について検討が必要ではないか。
- (5) 臨床実習の際に、利用者の方と日常会話から話すことができない学生が多いため、学校で学んだ技術を実施する前に利用者から拒否されてしまい、通常の臨床実習が行えず終了するケースがあるため、非常にもったいない。よって、利用者との信頼関係の作り方及び初回面接の方法について検討が必要ではないか。
- (6) 臨床実習でよく学生に見られるケースが、利用者の病気を診て問題点及び課題を出そうとするが、「生活にどう影響するか」という部分を考えることができていないので、利用者の生活行為を診る視点の教育及び指導方法について検討が必要ではないか。
- (7) 臨床実習の際に、認知症に関する基本的知識及び係わり方が不足している学生がいる。よって、認知症に関する周辺症状の理解及び利用者の過去の生活歴を把握することで、利用者の不安や気持ちを理解し対応できるような教育及び指導方法について検討が必要ではないか。

7. 次回の日程について（長原）

次回の日程が提案され、第2回教育課程編成委員会を2015年8月30日（日）12:00～13:30にて開催することが決定した。
また、詳細については、後日連絡することが確認された。

8. 閉会